



発行所 財団法人青森県りんご協会 青森県青森市中央3-9 TEL 0172-27-6006 FAX 0172-27-6008

果樹の病害防除に チオソック フロアブル 大内新興

りんご研 ふじの熟度ほぼ平年並み ツル割れ少ないが蜜入り・着色に残暑の影響

今年産「ふじ」の熟度調査結果(りんご研) 10月31日現在

区分	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード反応 (0-5)	着色指数 (0-5)	蜜果率 (%)	蜜程度
本年	15.3	14.3	0.376	2.0	2.8	75	1.2
昨年	14.5	14.3	0.420	2.3	3.3	47	0.4
平年	15.1	14.2	0.407	2.1	3.5	97	2.1

平年:1991-2010までの19年平均(1991年を除く)

りんご研究所(黒石市)が6日(土)に行っているふじの熟度結果において先月31日に調査したところによると、今年産ふじは有袋、無袋ともほぼ平年並みの熟度の進み具合であると発表した。

この度の調査によると有袋、無袋共に、蜜果率及び蜜入り程度や着色指数は平年よりやや低いものの、その他はほぼ平年並みであった。無袋ふじについては、今月5日頃から見られる収穫開始時には更に熟度が進むと予想されることから、平年並みの果実品質になるものと思われる。

平年より蜜入りや着色指数が低いことについて同研究所によると、お盆過ぎから9月中旬頃まで続いた残暑のあとも、10月上旬までは気温が平年よりも気温が高めであったことが影響している。

今冬は暖冬傾向、局地的に大雪も!

気候問題研究所が三か月予報を解説

先月11日、東京都内で気候問題研究所主催の「今冬の天候予報」説明会が開かれ、11月から1月までの三か月予報解説を発表した。これによると北日本の今冬は暖冬傾向だとみているが、11月は一時的な冬型、12月は年末寒波、1月は正月明け頃か月末にかけて再び寒波となると予想した。

このほど発表された予報解説によると、北日本の11月上旬は、一時冬型で気温の浮き沈みがあるものの、下旬は気温が上昇する見通し。12月上旬は周期的な低気圧や寒気と暖気影響で一時的な大荒れがあった

主張

ミカンの価格低迷に對処するため、農水省は先月20日から31日まで、各産地が前倒しで出荷した③低糖度の果実の割合が多く、しかもバラツキも多いため、販売が好調で「酸っぱい、味の薄い」果物の理由から消費

おいしいりんごが消費を伸ばす

取引された主要果実の入荷実績をみるとカキが11%、極早生ミカンが13%、ナシが14.0%と全て前年を大きく上回っている。加えて果物の消費が毎年右肩下がりなのなか、消費

ばさみ

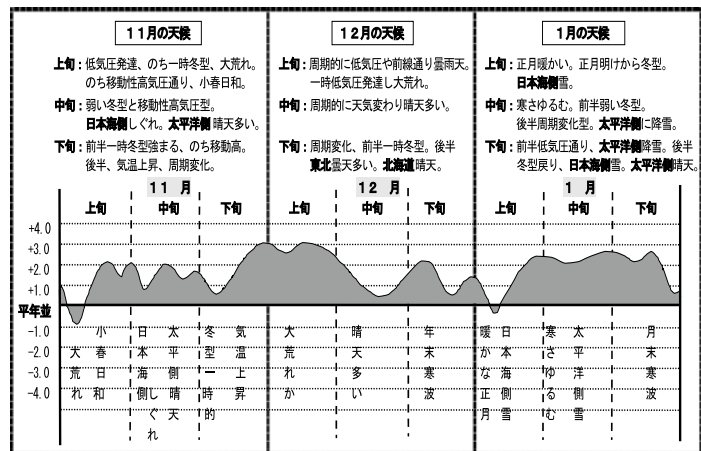
高品質りんごの見本として、りんごの品評会に出品されるりんごがある。その条件が、外観に優れ、病害虫の被害は少なく、加えて食味という部分が非常に比率の高いものだとされている。

追求

冬期の剪定に始まり、春先からの管理作業は、ひたすらその条件を満たすためにこなして来たわけである。さて今年も残すところ晩生種の収穫というところまで来た。

我が家で生産された一品を厳選して、ぜひ出品したいと考えている。これに出品することで、いろいろな生産のための勉強をさせてもらっている。

3か月予報解説(気候問題研究所)



※この情報は気象庁予報資料による解説です。

海外短信

ザ・ワールド・アット・リポート3月号で発表した2012年主要りんご生産国32カ国のりんご産業界競争力順位と、同時に発表された世界経済フォーラムの14カ国に

りんご産業界競争力と経済競争力

競争力と並びかえらる。相関係数0.71と人当たりのメダル獲得数の高い関係が認められた。このことは、経済競争力とりんご産業界競争力の関わりが強いことを示している。ただし、この関係から大きくはずれているのはチリ(14.1)、

りんご文芸

短歌

弘前市 中畑 和子 一服のお茶が暖かくゆき渡るヨーガの後のしなやかな身に

俳句

青森市 小野 寿子 林檎もぎ先づ一札を木に天に どの道を行けど林檎のたわわなり

収穫らくらく

ラクタロウ

@1,600円 (税込)

弘前市 青藤 嘉 科学の芽すくすく育つ好奇心 りんご挽く子らの瞳にある未来

